



# 基山っ子

基山町立基山小学校 学校だより

第19号 令和5年 2月 9日

☎92-2431 文責 校長 福山 信代

学校教育目標「きたえ やりぬき まなびあう」

～心も体も元気で前向き 基山っ子 明日も行きたい！基山小～



## 道徳特別授業 6年「命の授業」 命って何だろう。

1日(水)、私が大学生だった頃から授業づくり学校づくりの大先輩として、佐賀県の教育にご尽力されてきた村岡智彦先生にご来校いただき、現在ライフワークにされている「命の授業」を6年生に実施していただきました。

命とは？と問われ、余命半年と告げられたご自身の闘病経験、自身の苦悩、当時13才だったお子さんへの思い、生きながらえた数年後の思いを語られました。快活なお話しぶりにひき込まれ子供たちは真剣に聴いていました。たくさんの先祖から受け継がれた命のバトン、その有り難さ、生きることの意味、自死やいじめはいけない理由についてを考えることができた貴重な時間でした。子供たちの感想には、死について考えてた不安な気持ちや家族や自分自身の闘病体験、いじめを二度としないという決意等がびっしりと書かれていました。これから多感な時期に突入する6年生の心に響いたことが、一人一人の感想に表れていました。

※その一部を裏面に掲載しています。

命は大切に！  
と言われるのは  
どうして？



## 戻ってきた なわとび大会



コロナで近年中止になっていた、なわとび大会が戻ってきました。短なわの持久や、大なわをクラス対抗で競い合いました。ただのレクリエーションとして楽しむのもよいですが、大会として本番で記録を出す成就感、競い合う緊張感を味わうことも、子供たちの成長過程に意味があると考えます。写真は、5年生。本番というぴんと張り詰めた空気感の中、チーム皆で心合わせて挑む、かけがえのない瞬間。勝って大喜び、失敗しても「頑張れ」「おいしい」と声掛け合う子供たち。昇降口には、下級生のギャラリーができ、憧れの眼差しで上級生の技を見ていました(こうして技も心意気も引き継がれていくのです)。また、次の日は、6年生のなわとび大会。大なわは、芸術的といっってよいほど美しく、スピードも圧巻でした。



【5年生 なわとび大会】

## なかよしタイム

3日朝の時間、縦割班で遊びました。6年生が、ルールを説明したり、上級生が、下級生にボールを譲ったり、互いに「キャッチうまい」等、声を掛け合ったり、和やかに交流ができました。終わった頃には、体もぼかぼか。次回は、リーダー引き継ぎ。5年生が、縦割活動の進め方、ノウハウを引き継ぎ、仲良し基山っ子の伝統を引き継ぎます。



## 基山小ホームページこちら

「学校の近況」に学校の行事や子供たちの活動をアップしています。学校だより「基山っ子」も、カラーで鮮明にご覧いただけます。

<https://www.education.saga.jp/hp/kiyama-e/>

↓裏面もあります。ご覧ください。





## 【「命の授業」後の6年児童の感想より】

今までも、命は大切にしなければいけない  
命を大事にしなければいけないと思っ  
けど、命の授業をきいて、命は、神様から  
あたえられた何よりも大切な時間なんだと  
感じました。私は今、小学6年生だけど、お父さん  
お母さんから命のバトンももらっていて、私はその  
バトンを自分の子どもにわたさないといけない  
ということも学びました。私は今まで「生きる」  
について考えたことがあまりなかったけど、  
村岡先生が、「生きるとはたれかと何かをして  
働くことだ」と言われて、私も今は友達と  
いっしょにできないことに挑戦していること  
思いました。これからどんなに  
つらくて、きついことがあっても  
この授業を思い出して、つらいことも  
きついことも乗り越えていこうと思います。



授業を受けて、「命とは、どういう事なのかを  
知ること」ができました。村岡先生は、神様が  
あたえてくれた時間を命と考えていて、  
そうなのかも知れないな、と思  
いました。私は、自分に与えられた命  
とは、どういうことなのだろうと考  
えてみましたが、思いつきません。与  
えられた時間に生きていきたいです。  
人間は、「たれかと何かをして」とい  
う言葉を聞いて、家族や友達か  
いて、泣いたり、笑ったりしているこ  
となんだな、と思いました。私は、命  
を大切に、1分1分に感謝して生きて  
いきたいです。村岡先生「命について」  
の授業をしてくれてありがとうございました。

自分(り)の命とは、...について考えることができ  
て良かったです。私は最後の生きることは親か  
ら受けとったバトンを次の世代につない  
ていくために、私自身に与えられたし  
めい、と考えました。自分の先祖の方  
が命をなげすまずに、子の世代へバ  
トンパスをし続けてくれたことに感  
謝をして、私の人生が終了をむかえ  
る時、おたごん(ごん)のことに挑  
戦し、いろいろな人と関わりたい  
と思います。そして時間を大切に  
して、そのときにしかできない事  
など、そのときそのとき、1分  
1秒を大切にしていきたいと思  
います。

今日の授業では、いじめをしてしま  
ったことを改めて反省しています。  
いじめをしてしまうと、学校にこ  
れなくなったり、自殺してなくな  
ってしまう。その人は何も悪くな  
いのに、自由に生きられなくな  
ってしまう。私は村岡さんの話  
をきいていた時に、そう思いま  
した。なのでこれからは周りに  
まどわされず、友達を大切に  
していきます!!「命の

僕はいつも寝る時自分が死んだら  
周りの人はどう思うだろう、死  
んだらその後どうなるだろうな  
とせへは生きるだろうと思っ  
ています。そして今日、村岡先生  
の話を聞いて、せへは生きるた  
らどうなるか、という問いの答  
えを知りました。もし自分が死  
ねば、生まれぬ命がある、生  
きるとはたれかと何かをして  
働くこと、というのをその答  
えです。村岡先生の言葉は、  
胸をさざりました。命は神  
に与えられた時間、た  
や神様、後三年だけ生か  
せてくれた、という言葉が胸  
にさざりました。

## 感謝しています。CS 学校運営協議会

コミュニティスクール(学校運営協議会)とは、地域の代表の方  
方がともに、学校運営のことを考え、話し合ってもらっている会  
のことです。6日に、第3回学校運営協議会を開催しました。今年  
度の振り返りと次年度の学校経営方針について、通学路や地区の  
子供会のこと、ICT教育、読書推進等々、話題は、多岐に渡りま  
した。本会が発起してくださった「基山小よろずお助け隊」の名  
の通り、委員の皆様には、いつも、基山小がよりよくなるた  
めに、学校を助け支えていただいています。6日が、今年度  
は最後の会でしたが、改めて御礼申し上げます。委員の皆様、  
いつもありがとうございます。

